

青森県八戸市新井田方言における感覚を 身体感覚を表すオノマトペ

大西拓一郎

はじめに

1. 調査対象地点：青森県八戸市新井田字横道
位置：青森県東南部に位置し、太平洋に面している。
生業：工業と水産業が盛んで特に工業は県内一。話者は元八戸セメント社員。
交通：JR東北本線と八戸線が通っている。
人口：市全体では約24万人、新井田では約1万2千人
戸数：市全体では約7万7千世帯、新井田は約3千5百世帯。
2. 調査日時：1991年9月19日
3. 話者：松橋栄蔵(m) 生年月日：1926年(大正15年)4月21日
4. 調査者・調査場所：大西拓一郎・大館児童館
5. 調査の方法・調査時の様子：面接調査、同席者なし。

I 全身の感覚

1-1. 不快感

- さっぱり ○ (風呂に入って) サッパリシタ
- 1-2. 寒さ
- がたがた ○ (寒くて) ガタガタフルッタ (震えた)
- ぶるぶる ○ (あまり寒くて) ブルブルトフルッタデヤ (震えたよ)
- ぞくぞく ○ (風邪をひいて背中が) ジャワジャワスルデヤ
- * ○ (あまりの寒さに) ビリビリトスモル (寒さがしみる)

1-3. 熱さ

- ほかほか ○ (酒が効いてきて) ホカホカトナツタ
- かっか ○ (卵酒を飲んで) ポーポーシテキタ

II 皮膚の感覚

- ひりひり ○ (日焼けして) ビリビリスデヤ (ひりひりしてね)
- べたべた ○ (汗かいて背中が) ベタベタスデヤ
- むずむず ○ <「むずむず、もぞもぞ」とは言わない>
- かさかさ ○ (風にあたって肌が) ガサガサナツタデヤ

- つるつる ○ (温泉に入って肌が) ツルツルトナッタデヤ
- ずきずき ○ (包丁で切って激しく) ピリピリトイテ (痛い)
 <「ずきずき」は使わない>
- ひりひり ○ (擦り傷が激しく) ピリピリトイテ (痛い)
 (火傷をして) ヒリヒリトイテ (痛い)
- ずきんずきん ○ (できものが) ズキンズキントヤメル (病む、痛む)

Ⅲ 頭部の感覚

3-1. 頭

- がんがん ○ (熱がでて頭が) ピンピントイテ (痛いなあ)
- くらくら ○ (二日酔いで頭が) クラクラスルデヤ
- ずきずき ○ (二日酔いで頭が痛くて) ピンピンスルデヤ
- かっか ○ (叱られて頭が) カッカトナツタ

3-2. 顔面

<NR>

3-3. 目

- ちかちか ○ (テレビを見過ぎて目が) ツカツカトイタクナル (痛くなる)
- ごろごろ ○ (目にごみが入って) ゴロゴロスルデヤ

3-4. 耳

- きーん ○ (耳元で大きな音がして耳が) キンキンスルデヤ
- ぐじゅぐじゅ ○ (中耳炎で耳の中が) グジャグジャスルデヤ

3-5. 鼻

- むずむず ○ <「むずむず」は使わない>
- ぐじゅぐじゅ ○ <「ぐじゅぐじゅ」は使わない>
- つーん ○ (わさびを食べたら) ハナヅ (鼻に) ツーントシタデヤ

3-6. 口

3-6-1. 口全体

- ねばねば ○ (納豆を食べると口の中が) ネバネバスルデヤ

3-6-2. 歯

- がちがち ○ (寒さに歯が) ガクガクトナツテ (鳴る) サムイデヤ
- * ○ (虫歯に冷たい水が激しく) ピリピリトスモルデヤ (しみるなあ)

3-6-3. 舌

- ひりひり ○ (辛いカレーを食べて舌が) ヒリヒリスルデヤ

3-7. 喉

からから

○ (喉が) ヒリヒリトカウエータ (渴いた)

いがいが

○ <喉の感覚に「いがいが」は使わない>

(たばこの煙がひどくて喉が) ヒリヒリシテヤ

ぜえぜえ

○ (息が苦しくて喉が) ヒリヒリシテヤ

<「ぜえぜえ」は使わない>

IV 胴体の感覚

4-1. 肩

こりこり

○ (肩がこって) ゴリゴリシテタ

4-2. 胸

どきどき

○ (驚いて胸が) 下キドキシタ

きゅっと

○ <「きゅっと」は使わない>

むかむか

○ (吐きそうで胸が) ムカムカシタ

4-3. 腹

4-3-1. 空腹

ぐうぐう

○ (空腹で腹が) グーグートナッテタ (鳴ってた)

4-3-2. 満腹

たぶたぶ

○ (水を飲み過ぎて腹が) ゴブゴブズデヤ (たぶたぶしてねえ)

ばんばん

○ <「ばんばんと腹が張る」とは使わない>

4-3-3. 腹下し

<「ごろごろ」「びいびい」は使わない>

4-4. 胃

きりきり

○ (飲み過ぎて胃が) ヒリヒリトイテニ (痛い)

<胃の痛みに「しくしく」は使わない>

4-5. 尻

むずむず

○ (居心地が悪くて尻が) モチョクナルデア
(大西注: ただし形容詞)

V 手足の感覚

5-1. 手

ふるふる

○ (寒さに手が) ブルブルトラルッタ (震えた)

5-2. 足

がくがく

○ (急に走って足が) ガクガクスルデア

5-3. その他

ひやっと

○ (こんにゃくに触って) ヒヤットシタデア

ぬるぬる

○ (里芋の皮を剥いて手が) ヌラヌラスッデア

VI 関節(骨)の感覚

ほきん

○ (無理をすると骨が) ホキントオレンデア (折れるぞ)

注) オノマトベにあたる部分は下線を引いた。上線はアクセント。音声は共通語に対応させた。

(おおにしたくいちろう 国立国語研究所)